

霜晴(しもばれ)

霜晴(しもばれ)は、冬の天文に関する季語で、霜が降いた後の天候が晴れていることを表します。霜が降りるということは、夜間に冷え込み、天候が晴れていることを意味します。霜が降いた翌朝も晴天であることから、霜晴という言葉が使われます。

コサ／ジュを差すそれだけの春の服

どんたくや郷に従ひ博多弁



身の緊るマリンブル／や沖縄忌

天高し能登の棚田は海へ落つ



天高く 能登の棚田は 海に落つ

てんたかく のとのたなだは うみにおつ



コサージュを 差すそれだけの 春の服

コサージュは、女性が衣服の襟元や胸元に付ける花飾り



どんたくや 郷に従ひ 博多弁

どんたくや ごうにしたがひ はかたべん



身の繋る マリンブルーや 沖縄忌

みのしまる まりんぶるーや おきなわき

沖縄忌（おきなわき）は、沖縄戦が事実上終結した6月23日を指す夏の季語で、
沖縄では「慰霊の日」として、毎年平和祈念式典が執り行われます。

